

# (誰でも簡単) 支援制度の活用パターン例

2023.5.27版 弁護士永野 海



罹災証明の種類と住まいの選択ごとの  
使える支援制度のパターン例だよ  
1つの参考にしてね

より詳しい情報がある  
被災者支援カードも  
一緒にみながらだと  
分かりやすいわ♪



半壊 世帯で  
解体(修理) 賃借人 の場合

## 注意点

- この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。  
※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも
- それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

→ここからDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

カードで 得られる金額	万円	? 万円	70.6 万円	? 万円
最初の生活場所	ボランティア 専門家支援	火災(地震) 保険・共済	応急修理 制度	自治体の 独自支援
カードで 得られる金額	? 万円	万円	170~ 万円	税金が戻る
次の生活場所	仮設住宅	義援金	災害援護 資金貸付	雑損控除 (災害減免法)
カードで 得られる金額			上限1200万円	上限1200万円
最終的な住まい	自宅を修理	災害復興 住宅融資	リバース モーゲージ	被災ローン 減免制度

被災者支援カード(おもて) 大切な9つの支援制度をカードで

応急修理制度 (災害救助法)	窓口 自治体 誰に	仮設住宅 (災害救助法)	窓口 自治体 誰に	災害援護 資金貸付 (災害被害法)	窓口 自治体 誰に
基礎支援金 (被災者生活再建支援法)	窓口 自治体 誰に	被災ローン 減免制度 (被災者生活再建支援法)	窓口 弁護士 誰に	公費解体 (環境省の制度)	窓口 自治体 誰に
加算支援金 (被災者生活再建支援法)	窓口 自治体 誰に	災害復興 住宅融資 (高利貸返済特例も)	窓口 自治体 誰に	雑損控除 (災害減免法)	窓口 自治体 誰に

一部損壊

世帯で

解体/修理/賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震)保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>			<p>情報に注意</p> <p>自治体の独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>? 万円</p>	<p>万円</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>		<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除(災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>自宅を修理</p>			<p>上限1200万円</p> <p>災害復興住宅融資(建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>上限1200万円</p> <p>リバースモーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか

一部損壊

世帯で

解体/修理/賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>			<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>		<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>					<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

準半壊 世帯で  
解体(修理) 借借人

の場合



注意点

☑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

☑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>34.3 万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 70万6000万円 準半壊 34万3000円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>万円</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合は 災害弔慰金申請も 検討を (関連死)</p>	<p>150 万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に对应し最大 350万円貸付</p> <p>床上浸水で 家財の3分の1の損 害ある場合等</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>自宅を修理</p>			<p>上限1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊・補修は一部 損壊以上が条件</p> <p>どちらか</p>	<p>上限1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>
				<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローンの 減額・免除</p>

準半壊

世帯で

解体/修理/賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震)保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>			<p>情報に注意</p> <p>自治体の独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>150 万円</p> <p>災害援護資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に对应し最大350万円貸付</p> <p>床上浸水で家財の3分の1の損害ある場合等</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除(災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>					<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

**半壊** 世帯で  
解体/修理/借借人

の場合



**注意点**

☑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

☑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>70.6 万円</p>	<p>気軽に相談</p> <p>保険(共済)金額</p> <p>70.6 万円</p>	<p>情報に注意</p>
<p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被災保障が</p>	<p>応急修理制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 70万6000円 準半壊 34万3000円</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>? 万円</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>170~ 万円</p>	<p>災害援護資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>上限1200万円</p>	<p>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>リバースモーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>
<p>最終的な住まい</p> <p>自宅を修理</p>	<p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を (関連死)</p>	<p>どちらか</p>

原則どちらか

どちらか

**半壊** 世帯で  
解体/修理/**借入** の場合



**注意点**

☑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

☑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>保険(共済)金額</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>? 万円</p> <p>万円</p> <p>170~ 万円</p> <p>税金が戻る</p>	<p>災害援護資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>	<p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>上限3700万円</p> <p>評価額の6割</p> <p>ローン減免</p>	<p>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p> <p>リバースモーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか

半壊以上 世帯で

解体/修理/賃借入

の場合

大家さんが解体した場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>100万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>250~ 万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>	<p>50~200万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間借付 50万 *中規模半壊以上の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか

半壊以上 世帯で

解体/修理/賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>100万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>250~ 万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>	<p>50~200万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間借借 50万 *中規模半壊以上の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか

中規模半壊

世帯で

解体/修理/借借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>70.6 万円</p>	<p>気軽に相談</p> <p>保険(共済)金額</p>	<p>70.6 万円</p>	<p>情報に注意</p>	
<p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被災保障が</p>	<p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 70万6000円 準半壊 34万3000円</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	
<p>カードで 得られる金額</p> <p>250~ 万円</p>	<p>? 万</p> <p>250/500万円</p>	<p>250~ 万円</p>	<p>税金が戻る</p>	
<p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>災 害 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合は 災害弔慰金申請も 検討を (関連死)</p>	<p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>50 万円 (単身は3/4)</p>	<p>50 万円 (単身は3/4)</p>	<p>上限1200万円</p>	<p>上限1200万円</p>	<p>ローン減免</p>
<p>最終的な住まい</p> <p>自宅を修理</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>

原則どちらか

どちらか

中規模半壊

世帯で

解体/修理/~~借入~~

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>			<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>? 万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に500万円 又 は250万円 支給</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合は 災害弔慰金申請も 検討を(関連死)</p>	<p>170~ 万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>		<p>25~100 万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間借借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊・補修は一部 損壊以上が条件</p> <p>どちらか</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>

大規模半壊

世帯で

解体(修理)賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>70.6万円</p>	<p>気軽に相談</p> <p>保険(共済)金額</p> <p>70.6万円</p>	<p>50万円(単身は3/4)</p> <p>情報に注意</p>
<p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>火災(地震)保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被災保障が</p>	<p>応急修理制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 70万6000円 準半壊 34万3000円</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>250/500万円</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>災害弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>100万円(単身は3/4)</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万円 修理 100万円 民間貸借 50万円 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除(災害減免法)</p> <p>建物の家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>上限1200万円</p>	<p>災害復興住宅融資(建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

原則どちらか

どちらか

大規模半壊

世帯で

解体/修理/~~賃借人~~

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>50万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>?万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に500万円又は 250万円支給</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合は 災害弔慰金申請も 検討を(関連死)</p>	<p>170~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減税法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>	<p>50~200万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊・補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>

どちらか

全壊

世帯で

解体/修理/賃借人

の場合

# 注意点

❑この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

❑それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

➡ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震)保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>100万円(単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>?万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>250~万円</p> <p>災害援護資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除(災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>公費解体</p> <p>原則全壊建物が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も無料で解体・撤去</p>	<p>50~200万円(単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興住宅融資(建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバースモーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか

全壊 世帯で  
解体/修理/賃借入

の場合



注意点

この場合に、利用を考慮することが多く、実際に使える可能性もある支援制度のカードの例です。

※あくまで典型的なパターンなので、ここにはないカードでも使えることも

それぞれの制度の内容は、被災者支援カードもあわせてみて確認しましょう。

ここから被災者支援カードをDL



※実際にその支援制度のカードが使えるかは、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用などによっても変わります

<p>カードで得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>気軽に相談</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>保険(共済)金額</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>100万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>情報に注意</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>?万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>250~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>税金が戻る</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
<p>カードで得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p>	<p>50~200万円 (単身は3/4)</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>上限3700万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊・補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>ローン減免</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>

どちらか